

## 肝炎ウイルスの感染経路

新型コロナウイルス感染症が世界的に流行しウイルスという言葉を毎日のように耳にするようになりました。新型コロナウイルスに関しては、飛沫を介して感染することから3密（密集・密接・密閉）の回避や手指消毒などの基本的な予防が広く周知されるようになりました。今回は、肝炎を引き起こす代表的なウイルスの特徴や感染経路について特集します。

主な感染経路と特徴	
飛沫感染	咳やくしゃみにより出る粒子（5 μm以上）による感染。 インフルエンザなど
空気感染	飛沫より小さな空気中に浮遊する5 μm以下の粒子による感染。 結核、麻疹、水痘など
接触感染、経口感染	ウイルスの付着した手で鼻や口を触ったり病原体を含むものを経口摂取して起きる。 ノロウイルスなど

### A型肝炎ウイルス

口からウイルスを摂取することによる経口感染が主な経路です。牡蠣を代表とする二枚貝や魚介類などでの感染が主です。その他、生野菜などでの感染も報告されています。2〜6週間程度の潜伏期（体内に入ってから症状発症までの期間）を経て肝炎症状を発症します。基本的に一時的な急性肝炎症状を発症しその後慢性化することはありません。

### B型肝炎ウイルス

血液を介した感染が主です。B型肝炎訴訟でも広く知られているようにウイルス感染者の血液が付着した針による感染や過去の輸血による感染があります。現在は予防接種などの針は一回ごとに新しいものを使用していますし、輸血の血液も感染しにくいよう対応が施されており感染確率は限りなく低くなっています。その他、性交渉や出産時の母子感染なども知られています。B型肝炎陽性の母親からの子供への感染に関しても、ワクチン接種により持続的な感染が成立することは現在少なくなっています。

### C型肝炎ウイルス

C型肝炎ウイルスもB型肝炎ウイルスと同様に輸血などの血液を介して感染を起します。B型肝炎ウイルスよりも性交渉や母子感染での感染頻度は高くはないと考えられています。B型肝炎やC型肝炎の方は、血液を介した感染を避けるためカミソリや歯ブラシなどの使いまわしなどを避ける必要があります。

### E型肝炎ウイルス

海外ではウイルスに汚染された飲料水などを介した経口感染が知られています。本邦では、豚・猪・鹿などの食肉を十分な加熱処理を行わず摂取した場合に感染することがあります。経口摂取から潜伏期は2〜9週と比較的発症までの期間に幅があります。基本的には一過性の急性肝炎をおこしてその後は改善し慢性化しませんが、妊婦さんではE型肝炎の劇症化（重篤な肝炎の状態）を起すことがあり、妊娠期には猪やしかななどの摂取は控えるのが望ましいでしょう。

コロナウイルスやインフルエンザなども含め日ごろから感染症予防の意識を継続しましょう。